

こんな無法が許されるのか



Aさん ソフトウェア技術者。勤続21年。
社長から「貢献賞」を3回受賞

5月から12回の面談で繰り返し退職を迫られました。「能力がない」「新入社員にも劣る」とののしられ、私の全てを否定されました。希望退職に応じなければ「内戦状態のシリアへの転勤になる」と脅されました。眠れなくなり、食欲もなく吐き気や腹痛で体重は5キロ以上減りました。仕事に誇りをもってやってきたのに、悔しさを乗り越えて、毎日が悲しい。



Bさん(40) ハード・ソフト開発技術者

9月18日、「5時からミーティング」と言われ、指示された部屋に行くと、見知らぬ2人が入ってきて突然、「解雇通告書」を読み上げました。「終業時刻までに私物をまとめて帰れ。明日から入社禁止だ」と告げられましたが、すでに終業時刻まであと15分。上司に監視されながら私物を整理させられました。同僚にあいさつもできず、それ以来、職場には入れません。「業績不良」が理由とありましたが、会社は何の根拠も示していません。



シャープ・リストラ 退職強要やめさせよ

共産党 厚労省に指導迫る

1万1000人（海外含む）のリストラ計画をすすめているシャープが退職強要を行っている問題で、日本共産党は厚生労働省に指導の徹底と是正を求めて交渉を行いました（10月22日、写真）。これには山下よしき参院議員、奈良県議らが参加しました。

人減らしで産業「復活」ない

衆院予算委 志位委員長質問から

電機・情報産業の衰退の大きな原因は、目先の利益だけを追い求め、企業にとって命である人間をどんどん切り捨ててきたことにあります。予算委員会質問で日本共産党の志位和夫委員長は、「こうした経営姿勢こそが創造的な技術開発の力を奪って

いった」と指摘。

「人減らしのリストラでは、日本の電機・情報産業の復活はありえない」「大企業の雇用に対する責任を果たさせよ」と求めました。

IBM 突然解雇、職場から締め出す 首相「あってはならない」

NECでは繰り返しの退職強要が行われ、11回も退職強要を受け「自殺しかない」と思い詰めたり、「能力がない」「内戦状態のシリアへの転勤になる」と罵倒されるなどの例が起きています。

日本IBMでは突然、正当な理由なく解雇を通告し、そのまま職場を締め出す「ロックアウト解雇」が行

われています（Aさん、Bさんの例）。志位氏の追及に野田首相は「そういうことがあるなら、あってはならない」と答えました。

労働契約法 第16条 解雇は、客観的に合理的な理由を欠き、社会通念上相当であると認められない場合は、その権利を乱用したものであるとして、無効とする。

電機リストラ 近畿でもこんなに

企業名	グループのリストラ計画	うち近畿の事業所で公表されているもの（カッコ内は削減人数。数字がないのは不明）
パナソニック・グループ	40,000人	茨木工場(3500人) 尼崎工場(1000人) 三洋本社(400人) など
三洋アクア	3,100人	本社:大阪府守口市。中国企業に売却・転籍
三社電機製作所	70人	本社:大阪市東淀川区
ルネサスエレクトロニクス	14,000人	大津市滋賀工場(900人)
シャープ	11,000人 海外含む	大阪・堺、八尾工場 奈良・天理、郡山、葛城工場
日本写真印刷	490人	本社:京都市中京区
富士通テン	260人	神戸工場
イトーキ	169人	本社:大阪市城東区
フェニックス電機	36人	本社:兵庫県姫路市
日本コンピューターシステム	63人	本社:大阪市中央区

(すでに実施されたものも含む)